

住職 先ほど言った「貧しさのかくし味」が生かされると感謝が生まれるのですが、これがないと感謝の気持ちがわかない。夢窓国師という天龍寺を建立された僧侶が、人は恩力で生かされているんだと。指本動かすことができないのも、足歩歩めるのも、自分の力ではないんだと。齢91歳で足腰も痛くなると「今日動けるのがありがたい」「今日食べられるのがありがたい」とその気持ちがだんだん積もってくるようになりますね。感謝というのがなければ人生は何の味もないもの、乾ききったものになると思います。

市長 今は「お互いさま」とか「ありがと」の気持ちがない状況が増えてきていると思います。何かあれば、お前が悪い、世の中が悪い、役所が悪いと自分に切原因がなくて周りが悪いんだという。人間苦しみ味わわないと喜びも分らないのかもしれませんね。小さい頃から今は余りにも辛いことを排除した生活をしてい

感謝の気持ちを忘れず

が秩序、用を終えて寝させた時には平等の姿になります。こうした使い分けが組織を健全なものにしてくれるのですが、このバランス感覚の欠乏が、とかく争いの種になります。

市長 親が子どもを殺すとか不満だったら火をつけて多くの人を殺してしまうとか、人にあるまじき発想が増えてきていると感じます。

市長 今は「お互いさま」とか「ありがと」の気持ちがない状況が増えてきていると思います。何かあれば、お前が悪い、世の中が悪い、役所が悪いと自分に切原因がなくて周りが悪いんだという。人間苦しみ味わわないと喜びも分らないのかもしれませんね。小さい頃から今は余りにも辛いことを排除した生活をしてい

遊びとは「なにゆえに」

て、気に入らないと耐えられずにキレる。

住職 天候でも不快指数というのはあるんですよ。でも爽快指数というのはないんですよ(笑)

市長 満足に限界はないけど不満にはメーターがあるということですね。

住職 人間の欲を満たそうとすると、ヒマラヤの山を全部金に代えて3つ重ねても足りんとお釈迦さんが言ってます(笑)

市長 Aは人間を超えるか超えないかの議論がありますが、Aに俳句を作らせたらすべし1,000くらい作ります。その中でどれが一番気に入っているか、と聞くと選べないそうです。人はたくさん作れないけど、これだと選べる。ルールのある世界では、Aは力を発揮します。

住職 心の問題になるとAはお手上げなんです。

市長 立ち場、悩むことが多いのですが、今日、人間の悩みや幸せだとかをお話して、似たような思いをされていると安心しました。これまでも話も聞かせていただいています。相手の気持ちをくみ取られて、吸い込まれるような話をされる、いつも感心させられます。

これからは、同じ思いを持つ人を増やしていくって、長い目でまちを変えていけたらと思います。抽象的な表現では人によって感覚が



市長 小学生のうちには、人間は得手不得手があつて、特徴があるから世の中が成り立っていることを理解し、中学校になったらライバルと切磋琢磨する。小学校から勉強、勉強というのはどうかと思っています。

住職 私は母一人子一人で育ったものだから、貧しさに耐える心はありません。お弁当のおかずもおじゃこだけの時もある、それを見た友達に「またじゃこか」と言われて「何くそ、勉強は負けたるか」と奮起しました(笑)

市長 いつも働いている親を見て、親って大変だなと。自分は食べていないのに子ども達がおいしそうに顔して食べているのを見て。子ども心に「親不孝は絶対したらいけない」と思ったものです。

住職 西国巡礼は、昔は3度しろと言っていました。1度目は父親の供養、2度目は母親、3度目は衆生(※)の供養だと。西国巡礼は親孝行や親の供養を強調したもので、現在にほしい心掛けだと思います。

遊びとは「なにゆえに」

市長 子どもの虐待が舞鶴でも問題になっています。市は虐待が始まる前から関与しますが、それでは遅いと思つていて虐待が起らないように「予防する」にはどうしたらいいのかを考えてくれと職員にも頼んでいます。未だに名案が出ません。子どもにお金がかかるから一人でもいいという人がいるが、私はそうではない



いと思っています。昔は、生きていくので精いっぱいでしたが、子どもはたくさん生まれた。国が富んで経済大国になると、気に子どもを産まなくなる。遊ぶことがいろいろ出てきて、誘惑にかられて子育てよりも自分が楽しみたいというのが、

違つので、正しく伝わりにくい。なので、データや数字で示してまちづくりや市の施策を説明していきたいと思つています。職員にも共有して、その数字に向かつて

丸となって、真の弱者を救つ「心が通う便利な田舎暮らし」の実現に向かつて進みます。今日はありがとございました。

住職 ありがとございました。

現代社会にはあると思つています。

住職 子どもを自動車の中に放置してパチンコにいつて死なせてしまうという事件がありますが「知好楽」という言葉が論語にあります。知ることよりも好むことの方が大事で、楽しむことは好きな

市長 このままいくと大きな転換期というが、世の中がおかしいことになるのではないかと危惧しています。日本にはこれまでに大きな転機が2回ありました。1つ目は明治維新の前に黒船が来た時、2つ目は第二次世界大戦で負けてアメリカに占領された時。どちらも外からの圧力がありましたが、自分たちでこれじゃだめだ」と変化しなければいけない時期が遠からず来るのではないかと思っています。

住職 日本人は柔軟な感覚を持っています。漢字から仮名を作ったりする知恵があります。権利義務の欧米的な考え方も平仮名流に柔軟に吸収していけばいいです。また、バランス感覚もぜひ身につけていものです。例えば「平等」と「秩序」。これを梯子に例えると、その横木は立てた時

ことよりも大事だと。私はその上に「遊び」があつて、遊ぶことは楽しむことよりも勝る。遊びというのは「ゆとりを持つ」という意味で、自動車のアクセルのあそびや、我々仏教でいうと「塵外(※)にこころをあそばす」ということ。感覚的なパチンコとかにおぼれるというのは、非常に人間が浅はかになっているのでしよう。「遊び」と言う本当の面白さというものを履き違えているのでしようね。

市長 若い人はなかなかそつという境地にならないですね。

住職 ドイツのランケという歴史学者は「人間には発展はあるけど進歩はない」と言っています。プラスチック製の良いものがたくさんできて生活が便利になつたら、今度はプラスチックの環境被害が問題になっています。それは本当の進歩ではなくて発展だけだと。

※衆生…仏教用語。命あるすべての生き物のこと
※塵外…俗世間のわずらわしさのないところ